

8/4 豊かな香りに高い評価

小平史郎さんのウーロン茶が県茶品評会で最高賞

第55回静岡県茶品評会の審査結果が発表され、ウーロン茶の部で小平園・小平史郎さん(久野脇区)の出品茶が1等1席に輝きました。

小平さんは、7年前に農林業センターで釜炒り用の機械が導入されたのを機に、その2年後からウーロン茶づくりを開始しました。今回の受賞について「約20年前に台湾でウーロン茶を飲んだときから『いつかこんな香り豊かな茶をつくりたい』と思い続けてきた。肥料や品種など試行錯誤をくり返しながらつくってきた茶が評価され、とてもうれしい」と笑顔で話しました。



「理想の茶づくりをこれからも追求していきたい」と小平さん

レッカー
Lecker!(=おいしい!)で国際交流 8/15

川根高校の生徒がドイツから来日した高校生と交流

ドイツから高校生9人が川根高校を訪れ、3年生8人と交流しました。

一行は、修学旅行として来日した「フォーテ校」の生徒。同校の生徒の来町は3年前から始まり、今年初めて川根高の生徒との交流が実現しました。両校の生徒らは、英語で互いに自己紹介したほか、一緒にあんみつを作って交流を深めました。また、農協職員の手ほどきで「お茶の入れ方」を体験すると、フォーテ校の生徒らは、その味わいに目を丸くして驚いたり「おいしい!」と笑顔を見せたりしていました。



両校の生徒が協力して、おいしい川根茶を楽しんだ

8/16 とも川岸に灯された幻想的な盆送り火

下長尾地区で伝統行事「百八たい」が開催されました

中川根南部小学校前の大井川河川敷にて、盆の送り火「百八たい」が行なわれ、下長尾区民や帰省中の家族連れなど、約100世帯から250人あまりが参加しました。

僧侶の読経と七夕飾りの焚き上げ後、初盆を迎えた世帯から順に「まき」へ点火すると、川岸に沿って連なるオレンジ色の炎が、辺りを幻想的に照らしました。百八たいは同区で続く伝統行事で、由来は定かではないものの、江戸時代に発生した鉄砲水の犠牲者を慰霊する川施餓鬼を起源とするという説が伝えられています。



会場横の下泉橋から望む、下流へと続く炎の曲線

動画
de
広報

9/3 湖上にきらめく笑顔

接岨湖でパドルスポーツの体験会「奥大井パドルミーティング」を初開催

町教育委員会は、奥大井接岨湖カヌー競技場(接岨区)にて、パドルを使った乗り物の体験会「奥大井パドルミーティング」を開催し、町内外から家族連れなど約60人が参加しました。

ボードの上に立ってパドルでこぎながら進む「SUP」やさまざまな種類のカヌー・カヤックが用意され、参加者はB&G海洋センター職員の手ほどきで楽しみました。また、町内でトレーニング中の大村朱澄選手も駆け付け、参加者にパドルの使い方や操船方法を指導しました。



動画
de
広報



Special Message
「『パドル』の楽しさを
より多くの人に」
大村 朱澄

小さな子どもたちもあつという間に上達していて、びっくりしました。パドルスポーツの楽しさやこの町の環境の魅力を、今日の参加者だけでなく、これからも多くの方に感じてもらえたらうれしいです。

私自身の競技活動としては、9月から10月にかけて、全日本選手権と国体の2大会に出場します。両大会とも、2020年の東京五輪に向けた通過点でもあり、この1年間のトレーニングの成果を確かめる機会でもあります。いつも応援してくれる町の皆さんに良い結果が報告できるよう、頑張ります!